

第26回母乳育児 シンポジウム

▶日程

8月5日(土)~6日(日)

▶会場

神戸国際展示場 2号館(兵庫県神戸市中央区港島中町 6-11-1)

▶プログラム

- 特別講演「赤ちゃんの社会的な心の発達—赤ちゃんが母さんの心を理解するのはいつから」林創(神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
- シンポジウムⅠ「これからの母乳育児支援—社会の変化の中で」森沢猛(加古川中央市民病院)／福永寿則(高知ファミリークリニック)／中崎雅世(大府田子医療センター)／永谷ひとみ(笠松産婦人科・小児科)／倉林工(新潟市民病院)
- シンポジウムⅡ「入院中の母乳育児支援のポイント—補足・体重減少・低血糖について考える」樺島重憲(立川相互病院)／桑間直志(富山赤十字病院)／伊藤直美(済生会兵庫県病院)／岡田真衣子(都立大塚病院)
- ワークショップ「早期母子接触と母子同室を安全に行うために」平林円(大阪市立十三市民病院)／鈴木望(山形県立中央病院)／小塩史子(姫路赤十字病院)／吉田佑子(京都医療センター)ほか

▶問い合わせ先

一般社団法人日本母乳の会
〒165-0026 東京都中野区新井 3-9-4
☎ 03-5318-7383

FAX 03-5318-7384

第16回母乳育児支援を 学ぶ九州教室

▶日時

8月6日(日)9:50~17:00

▶会場

福岡県立大学 5号館 1階大講義室(福岡県田川市伊田 4395)

▶参加資格

母乳育児支援に興味のある方であればどなたでもご参加いただけます。

▶プログラム

- 「母乳育児支援外来からみたNICUにこどもが入院中の母親への支援」大山牧子(新生児科医, IBCLC)
- 「母体合併症と母乳育児」田中奈美(産婦人科医, IBCLC)
- 「母乳育児支援外来から見たNICU退院後のこどもと母親への支援」大山牧子
- 「口唇口蓋裂・口蓋異常を持つ赤ちゃんへの母乳育児・母乳栄養支援—スタンダード+αの支援」大山牧子
- 「周産期メンタルヘルスと母乳育児—支援に必要な基礎知識から最新情報まで」田中奈美

▶定員

200名

▶参加費

事前振り込み 6000円(振り込み締め切り: 7月28日)
当日支払い 7500円(7月29日以降の振り込みに適用)
学生(看護系の学生とし、学生証を提示)3500円
※継続教育単位発行手数料(500円)は別途となります。

▶事前申し込み期間

7月28日(金)17:00まで

▶申し込み方法

氏名(フリガナ, ローマ字), 住所, 連絡先(電話, FAX, メールアドレスなど)勤務先, 職種, 継続教育単位必要の有無, お子様連れの有無・年齢, キャンセル待ちの要・不要をご記入のうえ, 件名を「第16回申し込み」として kyuusyuu kyousitumousikomi@yahoo.co.jp まで送信してください。

▶問い合わせ先

母乳育児支援を学ぶ九州教室事務局(担当: 小林)
✉ kyuusyuu kyousitu@yahoo.co.jp(申し込みメールアドレスとは異なります)

FAX 0947-42-2073

日本看護教育学会 第27回学術集会

▶日時

8月26日(土)10:00~16:40

▶会場

前橋テルサホール
(群馬県前橋市千代田町 2-5-1)

▶プログラム

- 基調講演「院内教育の評価—研修の質向上を目指して」山澄直美(長崎県立大学)
- シンポジウム「自己評価がもたらす看護実践・教育への効果」櫻井雅代(国立がん研究センター)／鈴木真紀(国立精神・神経医療研究センター病院)／永野光子(順天堂大学)／松田安弘(群馬県立県民健康科学大学)

▶参加費

一般 8000円, 学生(大学院生を除く)3000円, 懇親会 5000円

▶申し込み方法

情報お待ちしています

告知したいイベント、セミナーなど、開催日の約2か月前までに、FAX、郵便、e-mail などでお送りください。

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 医学書院「助産雑誌」編集室 FAX 03-5804-0485 ✉ josan@igaku-shoin.co.jp

下記の国会ホームページからお申し込みください。参加申し込みおよび参加費振り込みは、7月26日(水)までをお願いします。定員になり次第、締め切ります。

HP <http://jasne.umin.jp/>

▶問い合わせ先

事務局

〒238-8522 神奈川県横須賀市
平成町 1-10-1 神奈川県立保健
福祉大学内

✉ jasne_27@yahoo.co.jp

ラ・レーチェ・リーグの コミュニケーション技術(CTS) 学習会

▶日程

9月2日(土)～3日(日)

▶会場

利根中央病院 研修室(群馬県沼
田市沼須町 910-1)

▶対象

母乳育児支援に関心のある方なら
どなたでも

▶継続教育単位

申請予定

▶定員

12名

▶参加費

1万9000円(ラ・レーチェ・リー
グ年会費、諸経費含む)

▶申し込み方法

下記ホームページよりお申し込みく
ださい。

▶問い合わせ先

母乳育児サポートこでまりの会

HP <https://goo.gl/rXVgEZ>

日本家族看護学会 第24回学術集会

▶日程

9月2日(土)～3日(日)

▶会場

東京ベイ幕張ホール(千葉県千葉
市美浜区ひび野 2-3)

▶テーマ

地域包括ケアの時代に家族看護に
期待される実践

▶プログラム

- 会長講演「在宅支援サービスに
おける家族支援」荒木暁子(千
葉県千葉リハビリテーションセ
ンター看護局長)
- 教育講演「認知症高齢者の家族
を支える一名古屋事件最高裁判
決を踏まえて」池田直樹(上本
町総合法律事務所弁護士)
- 特別講演・市民公開講座「市民
と創る地域包括ケア—患者が看
護師に期待すること」山口育子
(NPO 法人ささえあい医療人権
センター COML 理事長)

▶参加費

会員(事前)9000円、(当日)1万円
非会員(事前)1万円、(当日)1万
1000円

学生3000円(大学院生は除く、学
部学生や看護師養成校の学生対象)
懇親会 7000円

▶問い合わせ先

運営事務局

〒100-0003 東京都千代田区一
ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル9F
株式会社毎日学術フォーラム内

☎ 03-6267-4550

FAX 03-6267-4555

✉ maf-jarfn24-chiba@myna
vi.jp

平成29年度分娩取扱施設 における災害発生時の体制 整備に向けたシンポジウム

▶日時

11月3日(金・祝)

10:00～16:00

▶会場

秋葉原コンベンションホール(東京
都千代田区外神田 1-18-13 秋
葉原ダイビル4F)

▶テーマ

母子のための後方支援の体制整備
にむけて

▶プログラム

- 講演「周産期医療における災害
対策の現状と課題」「災害時小
児周産期リエゾンの活動と助産
師に求められる役割」「産婦人
科の災害医療への新たな取り組
み—日本産婦人科学会大規模災
害対策情報システムを活用した
ネットワーク構築」
- シンポジウム「災害発生後にお
ける母子のための後方支援の体
制整備にむけて」
ほか

▶定員

300名

▶参加費

無料

▶募集期間

8月1日(火)～8月31日(木)

▶問い合わせ先

日本看護協会健康政策部助産師課
✉ josanshi@nurse.or.jp